

促成果菜類 カリの積極施肥が重要

促成の果菜類では生育が進み、収穫を開始している生産者の方も多いと思います。

果菜類は図1のように、生育が進むにつれ、カリ吸収量が非常に多くなります。カリは果実肥大を促進させ、収量増加に重要な養分です。

しかし11月以降は温度が低くなり、カリ吸収量が低下し、果実肥大が悪く、生理障害の発生も多くなります。

そのため、積極的なカリの施肥が重要になります。

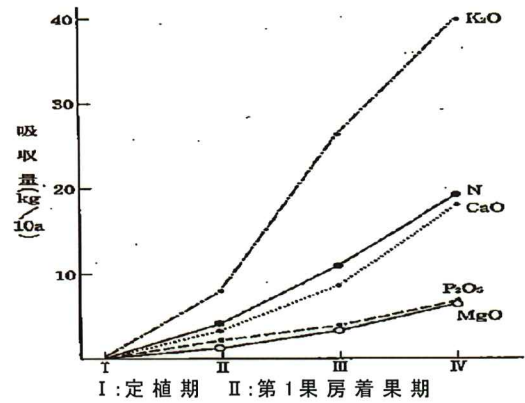


図1 果菜類の養分吸収 (トマト)
I: 定植期 II: 第1果房着果期 III: 収穫最盛期 IV: 収穫終了時

(農業技術体系)

☆カリの効果で、

①果実肥大・着色の安定

カリの効果で、葉で生産された養分が効率的に果実に転流され、果実肥大が促進されます。収穫までの在圃期間が短くなり、なり疲れ防止にもつながります。

②生理障害発生を防止

カリ欠乏症として、写真1のような葉先枯れなどが多く発生し、枯れ込み部分から病害が発生します。

カリの施肥で欠乏症予防と、立葉型の葉に仕上げることで、水滴が溜りづらくなり、病気予防にもつながります。



写真-1 トマトの葉先枯れ

☆カリの補給は、カリショット

カリの補給は、カリショットが効果的です。養分の運搬役である『カリ』と土壤養分を作物に利用できる形に変える『クエン酸』の入った地力活用型液肥です。またクエン酸は根を刺激する効果もあり、根を活性化させ、根の弱りを防止、養分吸収を高めることもできます。

これからの果菜類栽培に、カリショットの積極施肥を是非ご利用ください。

施肥時期	施肥量 (kg/10a)	施肥法
果実肥大期 ～収穫期	3～5kg	かん水施肥 (5～7日毎に施用)

多木有機液肥、タイミング2号との混用で、更に施肥効果が高まります。

【公式YouTubeチャンネル(肥料の寺子屋)】チャンネル登録をお願いします。

ホームページ <https://www.takichem.co.jp/> メールアドレス aguri@takichem.co.jp

